

【作成日】2019年3月27日

【概要】

本語彙リストは、東京外国語大学留学生日本語教育センター教育研究開発プロジェクト「『AJ Can-do リスト』と『CEFR-J』との関連付けプロジェクト」(2017年度)および「初級教材の発展を目指した基本語彙リスト策定と多言語版開発」(2018年度)において作成したものである。当センターで開発された『大学の日本語 初級 ともだち』(東京外国語大学出版会、2017)を含む、2019年現在の主要な初級日本語教科書5種類に共通して出現する語彙を収録している。掲載語彙数は、3種以上に共通する1214語(5種共通は514語、4種共通は855語)である。

【調査】

5種類の教科書とは以下の①～⑤である。

- ①『げんき I・II』(Japan Times、2011)
- ②『できる日本語 初級』(アルク、2011)
- ③『みんなの日本語 I・II』(スリーエーネットワーク、2012-2013)
- ④『まるごと入門(A1)・初級1(A2)・初級2(A2) りかい』(三修社、2013-2014)
- ⑤『大学の日本語 初級 ともだち Vol.1・Vol.2』(東京外国語大学出版会、2017)

それぞれの総語数は以下の通りである。

教科書名	語数(異なり語数)
①げんき	1633
②できる日本語	1025
③みんなの日本語	2047
④まるごと	1799
⑤ともだち	1638
合計	3760

また、共通語数と累積比率は以下の通りである。

重なる教科書の数	共通語数(累積)	累積比率(%)
5種類	514	14%
4種類	855	23%
3種類	1214	32%
2種類	1822	48%
1種類	3760	100%

上記の語数は、本研究の基準に基づいて語彙を収集した結果による。各教科書に語彙リストや巻末の索引があるが、項目の取り上げ方は教科書によって異なるため、本調査では統一基準を設定している。その概要は以下の通りである。

● 本調査で対象とする教科書の語彙リストには内容語のみならず、機能語（助詞、助動詞）、複合辞等の文型に関わる項目、挨拶表現が掲載されていて、その取り上げ方は教科書によってそれぞれ異なる。一方、本調査においては総語数と重なるの比率などはこれによって変化するため、原則として上記を削除して集計する。本語彙リストは主に内容語のリストとして作成している。

● ただし、機能語、表現等でも二冊以上の教科書のリストに掲載されている場合は、一般的に語彙リストにも掲載する項目としてみなし、本調査でも削除せずカウントした。

● 語の表記を統一している。漢字や送り仮名をはじめ、意味範囲が一致する項目は表記を一致させた。動物、植物はカタカナで統一した。

● 人名、数字は削除して集計している。固有名詞でも、地名は削除していない。

● 数字に関わる語彙に関しては、以下のようにまとめた項目もある。

- ・1月、2月…→「～月（がつ）」
- ・一歳、二歳…→「～歳／才」
- ・一年生、五年生…「～年生」
- ・九分…→「～分（ふん）」
- ・九月…→「～月（がつ）」
- ・九時…→「～時」

なお、本調査の語彙収集は手作業で行っている部分もあるため、見落としの可能性はある。万が一、見落としが発見された場合は、今後も修正していくことを課題とする。

【プロジェクトメンバー】伊集院郁子（2017年度チーフ・2018年度メンバー）・鈴木智美（2017年度メンバー）・鈴木美加（2017年度・2018年度メンバー）・藤森弘子（2017年度メンバー・2018年度チーフ）

【作成協力者】本田ゆかり